

KTMW045FRSDXXXC

リンナイ 食器洗い乾燥機

も く じ

1	安全上のご注意	1	8	試運転	20
2	各部の名称および寸法図	3	9	けこみ調節・下部扉昇降機構の取り付け	21
3	付属品の確認	4	10	けこみカバーの取り付け	22
4	設置場所について	5	11	設置後の点検	25
5	電気工事	7	12	異常報知について	26
6	配管工事	8	13	お客様への説明	27
7	設置	11	14	仕様	27



(工場管理)

JW0006-823×03 (00)
231000A
07000008093420

設置される方へのお願い

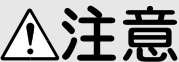
- この機器を正しく安全にご使用いただくために、この設置説明書をよくお読みになり、法律に基づいて指定された設置を行ってください。
- 配管工事はすべて、水道法、建築基準法、各都市の条例規定に準じてください。
- 設置が終わったら「11 設置後の点検」のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 試運転終了後、安全のため水道の元栓を閉めてください。また配電盤のブレーカは OFF にしないでください。

1 安全上のご注意

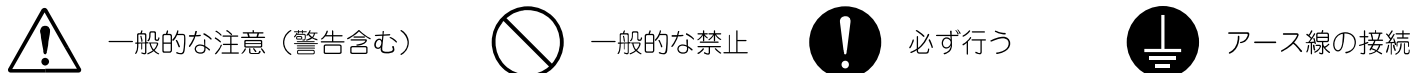
この設置説明書では製品を正しく設置をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った設置をすると、あなたおよびお客様が軽傷を負う可能性が想定される、また、物的損害のみの発生が想定されることを表しています。

絵表示について次のような意味があります。



- 設置完了後、試運転を行い、異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

 警告		
お客様へ	■据え付けはお買い上げの販売店、または専用業者に依頼する	
	ご自分で据え付けをされ不備があると水漏れや感電・火災の原因になります。	

⚠警告

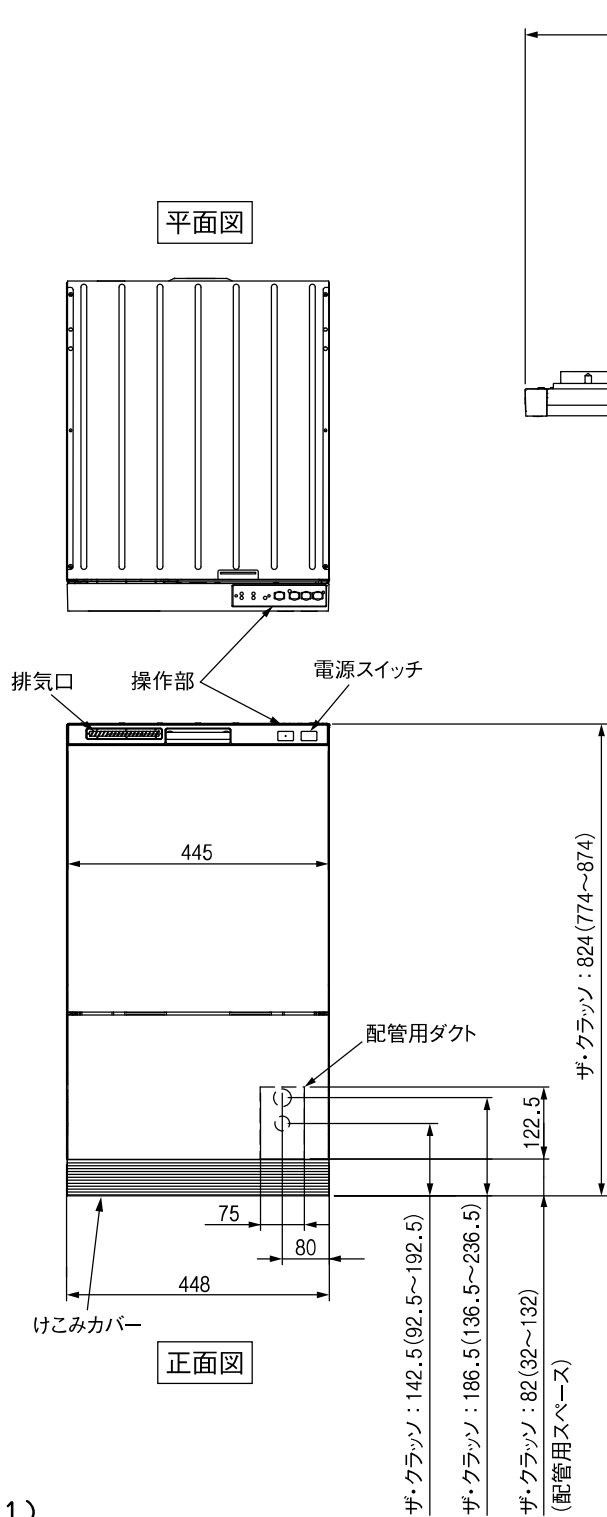
設置される方へ	■アースを確実に取り付ける ●故障や漏電のときに感電するおそれがあります。 ●アースの取り付けは販売店にご相談ください。	!
	■定格15A のコンセントを単独で使用する 他の機器と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。	!
	■電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく 火災の原因になります。	!
	■電源プラグは根元まで確実に差し込む 差し込みが不十分の場合、感電や発火の原因になります。	!
	■機器は水平器を用いて、水平で安定した場所に設置する 万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる場合があります。	!

⚠注意

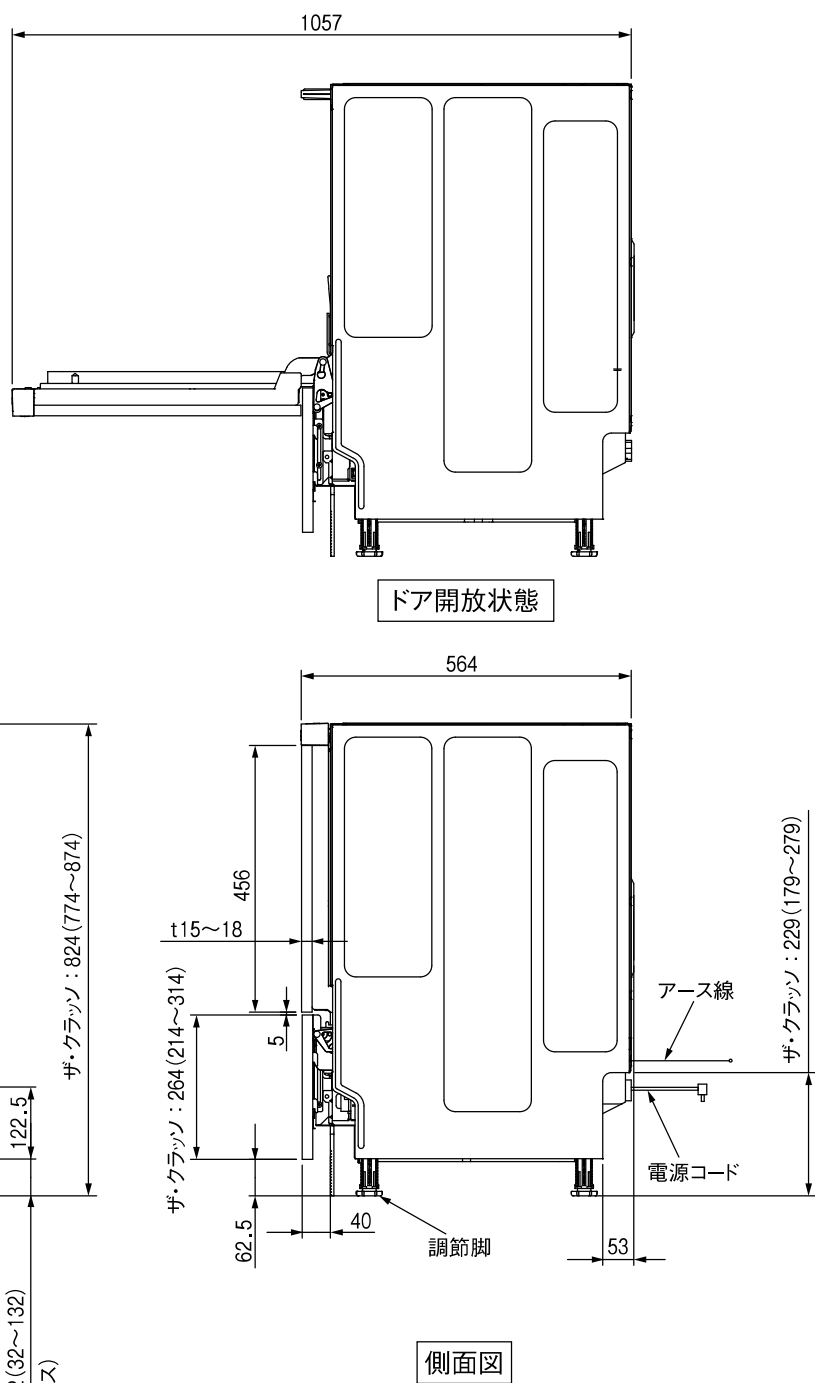
設置される方へ	■電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因になります。	⊘
	■交流100V 以外では使用しない 火災・感電の原因となります。	⊘
	■電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。	⊘
	■設置部品は必ず付属品および指定部品を使用する 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、火災、感電の原因になります。	!
	■製品の移動や据え付け時は手袋をして作業を行う 万一のけが防止のためです。	!
	■給湯、排水配管の端面はバリのないよう処理する。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除く 配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。	!
	■凍結のおそれがある場所（室温 0℃以下）へは設置しない 水漏れの原因になります。	⊘
	■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する 主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。	!
	■電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電・ショート・発火の原因になります。	!
	■設置および試運転終了後、配電盤のブレーカは OFF にしない ブレーカが OFF になっていると、万一水漏れした場合、安全装置が作動せず、被害が大きくなる場合があります。	⊘
	■元付け型の浄水器に接続しない 元付け型の浄水器に接続した場合、残留塩素濃度が0.1ppm 未満となり屋内に給水される水が細菌などに汚染されるおそれがあります。※水道法の基準は0.1ppm 以上	⊘

2 各部の名称および寸法図

(単位：mm)



(図 1)

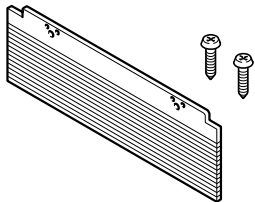
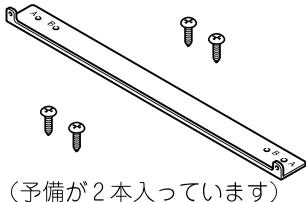
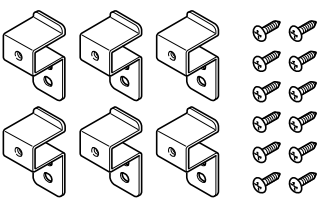
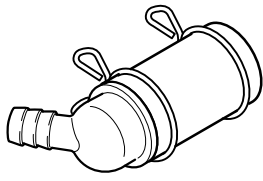
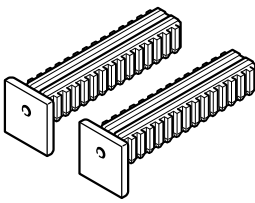
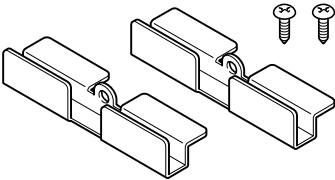
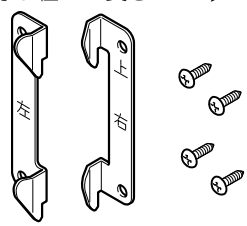
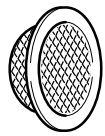
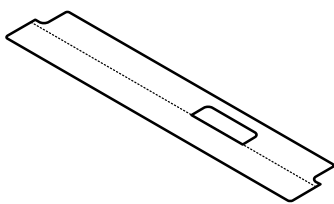
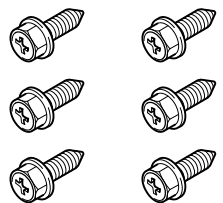
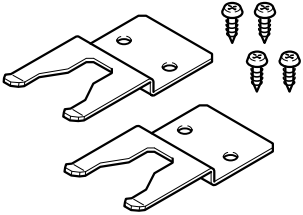
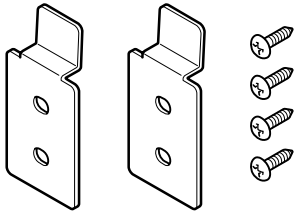
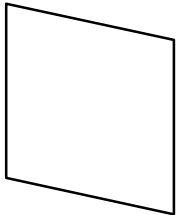


※ザ・クラッソの高さ874mmの場合は、
本体下に t25mm スペーサーを使用します。

(図 2)

3 付属品の確認 ● 設置を始める前に付属品の有無を確認してください。

● 付属品は、本体の中に同梱されています。

設 置 に 必 要 な 付 属 品			
(設 置 用)		(配 管 用)	
○けこみカバー (1個) ○タッピンネジ (2本) (黒色) 〔呼び径4×長さ20mm〕 	○移動防止金具A (1個) ○タッピンネジ (2本) 〔呼び径4×長さ12mm〕 (予備が2本入っています) 	○上面材金具B (6個) ○タッピンネジ (12本) 〔呼び径4×長さ12mm〕 	○接続ジョイント (ホース、ソケット、 ホースバンド(2個)のセット) 
○けこみ調節 (2個) 	○移動防止金具前 (2個) ○タッピンネジ (2本) 〔呼び径4×長さ8mm〕 	○下面材金具右・左 ○タッピンネジ (4本) 〔呼び径4×長さ12mm〕 	○フィルター付パッキン (1個) (配管についています) 
○上部シート (1個) 	○六角タッピンネジ (6本) 〔呼び径4×長さ8mm〕 (上面材固定用) 	○転倒防止金具 (2個) ○タッピンネジ (4本) 〔呼び径5×長さ16mm〕 	○上面材金具A (2個) ○タッピンネジ (4本) 〔呼び径4×長さ12mm〕 
○型紙 (1枚)  (本体上部にあります)			

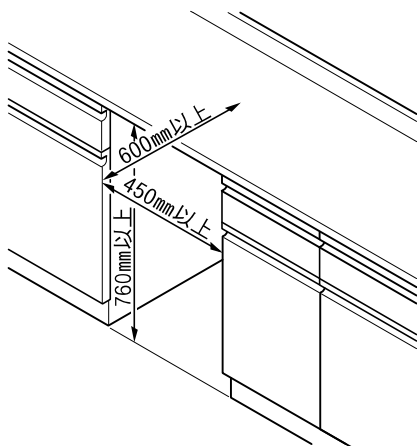
● 輸送のため、各部品にあて紙や梱包部材、輸送用固定テープがあるので、全部取り除いてください。

4 設置場所について

1 設置場所の確認

1. ビルトインスペースの確認

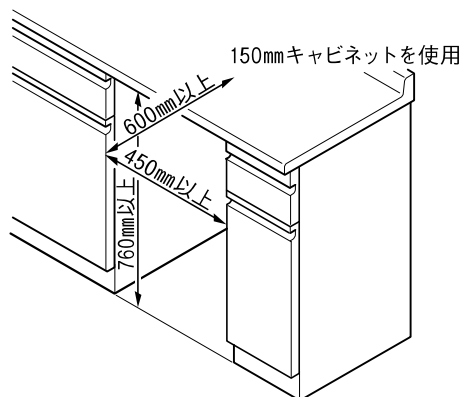
中間にビルトインする場合



(図 3)

片側がフリーの場合

●片側がフリーの場合、幅150mm キャビネットなどを使用して、カウンターを支える処置をします。



(図 4)

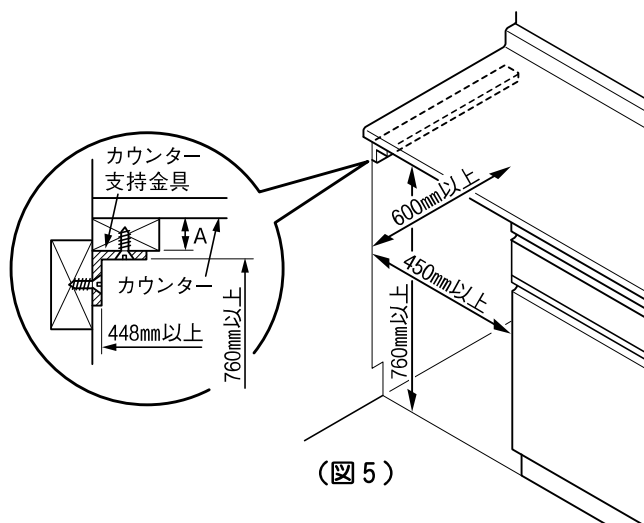
片側が壁面または、トールユニットの場合

●カウンター支持金具は市販のL金具を使用します。

※締結ねじの長さは、右図のA寸法より5mm以上短くして、カウンターの金属部に接触させないでください。(図5) 法令(電気設備の技術基準の解釈)により義務づけられています。

●ビルトイン型加熱機器などと並べて設置しますと、カウンター上に荷重をかけた時、たわむことがありますので、補強処置を施してください。(市販のL金具を使用します。)

※ザ・クラッソの場合は、端設置用カウンター固定金具(別部品)の設置説明書を参照してください。



(図 5)

2. 本体高さ寸法の確認

●本体の高さを決めるため、カウンター下の高さを確認してください。

本体の高さは、カウンター下の高さより5mm低い寸法にします。

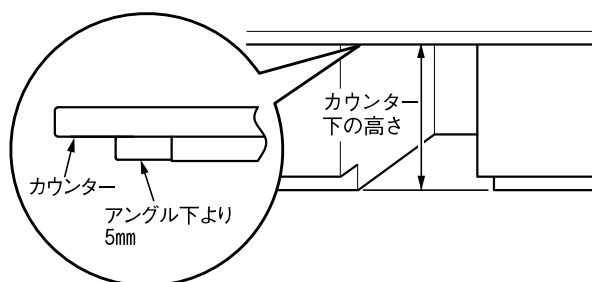
例) カウンター下の高さ829mmの場合

本体高さ寸法 $829 - 5 = 824$ (mm)

高さの調節は11ページ「7 設置」で行います。

※カウンター前面のアングル下より5mm低い寸法にします。

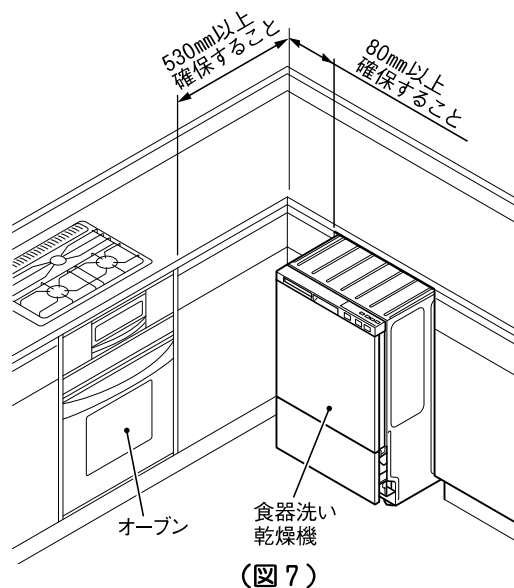
※本体高さの調整範囲は755~874mmです。



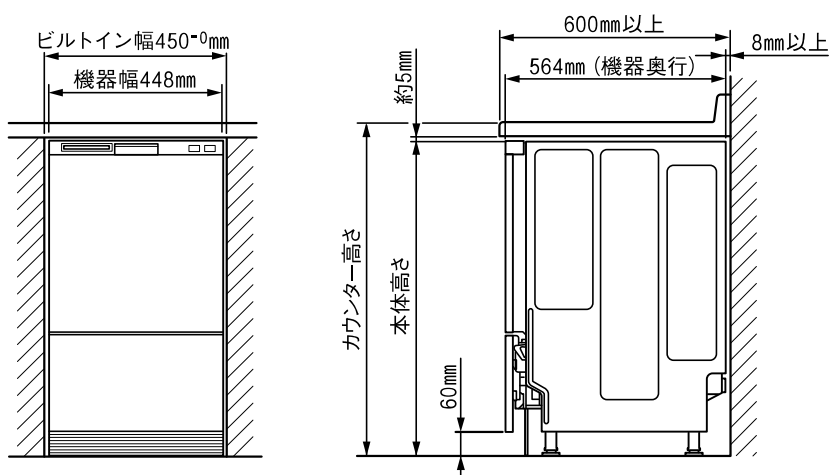
(図 6)

お願い

- L型配列のコーナー部に設置すると、本機のドアを開閉する際にオーブンの取っ手部に当たり、故障修理の際に本機が引き出せない場合がありますのでドア開閉のスペースを確保してください。(図7)



- 機器本体と可燃性のカウンター下面とは約5mm、後面は8mm以上離して設置してください。(図8)



■ザ・クラッソの場合

(単位: mm)

カウンター高さ	800	850	900
本体高さ	774	824	※874

※ t25mm スパースーを使用

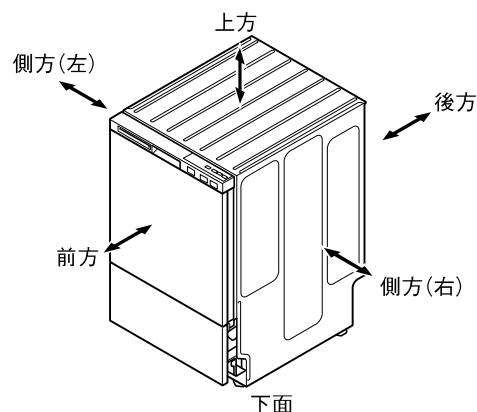
(図8)

※本体の金属部品が、家屋の壁中のラスや金属板、流し台のステンレス天板と電氣的に接触しないようにしてください。法令（電気設備の技術基準の解釈）により義務づけられています。

- この食器洗い乾燥機は「消防法告示第一号（対象火気設備などおよび火気器具などの離隔距離に関する基準）」に適合しております。

建築物の可燃物などからの離隔距離は以下の表に掲げる値以上の距離を保ってください。

消防法 基準適合 組込形			
可燃物からの離隔距離 (cm)			
上方	側方	前方	後方
0	0	—	0

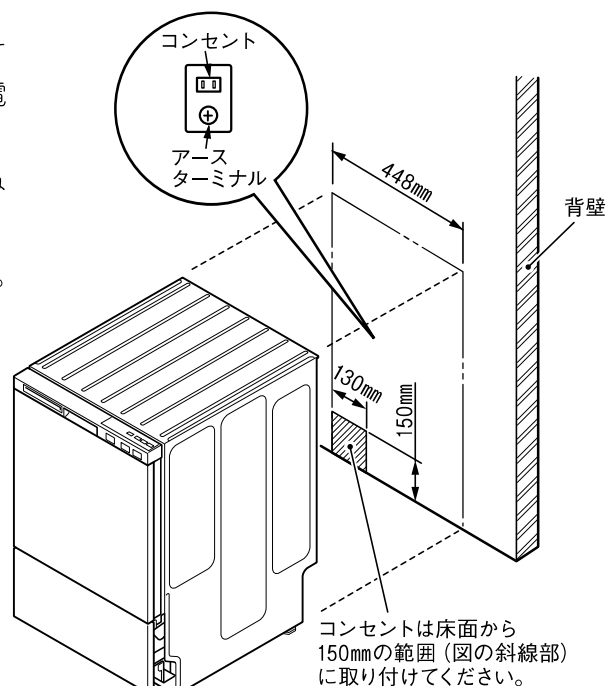


5 電気工事

1 電源の確認

■工事はすべて電気設備技術基準に準じて行ってください

- 電源回路は100V、15Aの専用回路が必要です。
- 本体を設置する場所の背壁に、給・排水工事部分を選けた位置（図9）に埋め込みボックスを設け、これに電源電線、アース線を配線しておいてください。
（コンセントは125V、15Aのアースターミナル付埋め込みコンセントを設けてください。）
- 本体の電源（電圧、周波数）表示は銘板に示しています。（図64）



（図9）

⚠警告

■15Aのコンセントを単独で使用する

他の器具と併用したり、容量以下のものは、異常発熱して発火の原因になります。



⚠注意

■電源回路は専用回路として、漏電しゃ断器を設置する

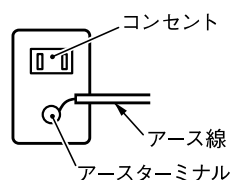
主幹に漏電しゃ断器が設けてある場合は、新たに漏電しゃ断器を設置する必要はありません。



2 アースについて

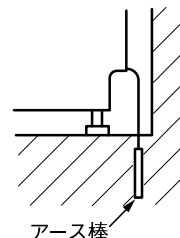
- 市販のアース棒を使用される場合、アース工事は必ずお買い上げの販売店か電気工事店にご依頼ください。
（電気工事士の有資格者がD種（第3種）接地工事をするよう法令で定められています。）
- ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。（法令などで禁止されています。）
- 設置場所の変更やご転居の際には、再度アースの取り付けをしてください。
（アース工事は有料ですのでご了承ください。）

アースターミナル付
コンセントの場合



（図10）

アース棒を使用の場合



（図11）

⚠警告

■アースを確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■アース線はガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しない

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



アース確認

給湯・給水工事、排水工事例

■本機は配管直結タイプですので設計および施工工事の段階で給・排水の位置決めは正確に行ってください

- 温泉水や地下水や井戸水で使用すると、水質によっては機器内配管に異物が付着するなど、耐久性を損なうことがありますので、機器に接続しないでください。
- 給湯管は給湯用塩化ビニルライニング鋼管（相当品）を使用してください。
- 配管工事が図14～17の寸法になっているか確認してください。（必ず床上に、この寸法で配管してください。）
- 排水配管は呼び径以上のものを使用してください。かつ曲折部は90°ベンド、45°ベンドを使用してください。
- 給湯（給水）、排水配管の端面は、パリののないよう処理してください。かつ管内に残っている異物（切り粉など）を完全に取り除いてください。配管つまりによる故障や、水漏れの原因となります。
- 排水本管に至るまでの接続部品（図示していない）も耐熱塩ビを使い、配管用接着剤は耐熱用を使用してください。
- 本機が使用できる水道圧力は0.03～1 MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。

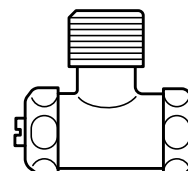


■70℃以上のお湯が供給される給湯（水）栓への配管には接続しない

故障の原因になります。

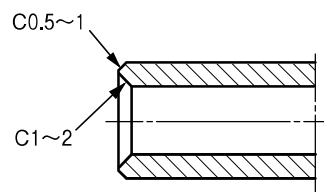


- ドライバー式アングル型止水栓を必ず取り付けてください。（止水栓は閉じた状態にしておいてください。）（図12）



（図12）

- 排水管 HT20の端面内周に、面取り（C1～2）を施してください。外周外面側は面取り（C0.5～1）をつけるとホースの挿入が容易になります。（図13）



（図13）

給湯器の確認

- 給湯接続の場合は10号以上のガス給湯器、石油給湯器、中型以上の深夜電力利用温水器などで70℃以下の温度に調整可能な機器に接続してください。

⚠注意

■元止め式ガス湯沸器、小型深夜電力利用温水器からの配管は絶対しない



■特に高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では給湯器に所定の減圧弁を必ず取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧する



●本機は本体高さ寸法により給湯（給水）管（B 寸法）・排水管（A 寸法）の床面からの高さが変わります。
（図14～17）

表 1 を参照して高さを決定してください。

■ザ・クラッソの場合

（単位：mm）

カウンター高さ		800	850	900
本体高さ		774	824	※849
床立上げ配管、壁出しの配管	A 寸法	146	196	246
床ころがしの配管（図14～17）	B 寸法	99	149	199
奥行60cm 時の	C 寸法	106	146	196
床立上げ配管（図17）	D 寸法	69	99	149

※本体高さ + t25mm スペーサー

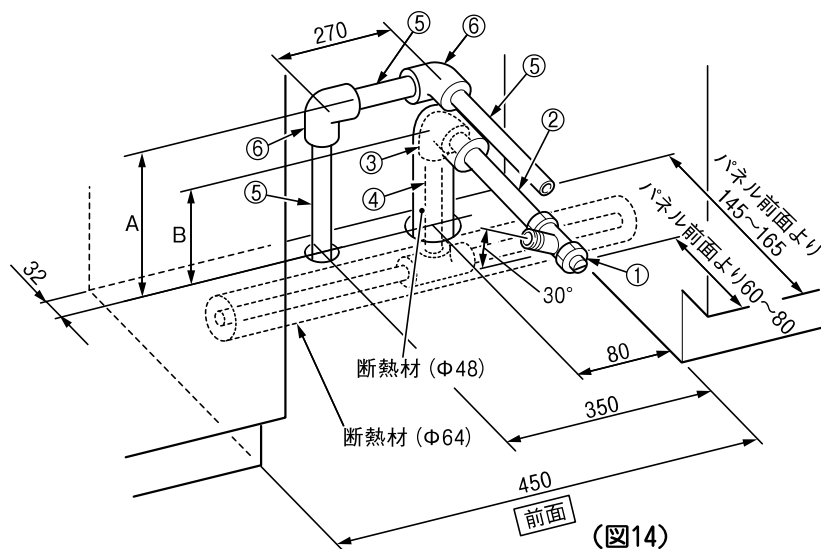
（表 1）

食器洗い乾燥機設置キャビネット内での配管例

●下記配管例以外の施工をする場合はお買い上げの販売店へご相談ください。

（単位：mm）

床立上げの配管例 キッチン奥行65cm 以上の場合
（60cm の場合は10ページ参照）



（図14）

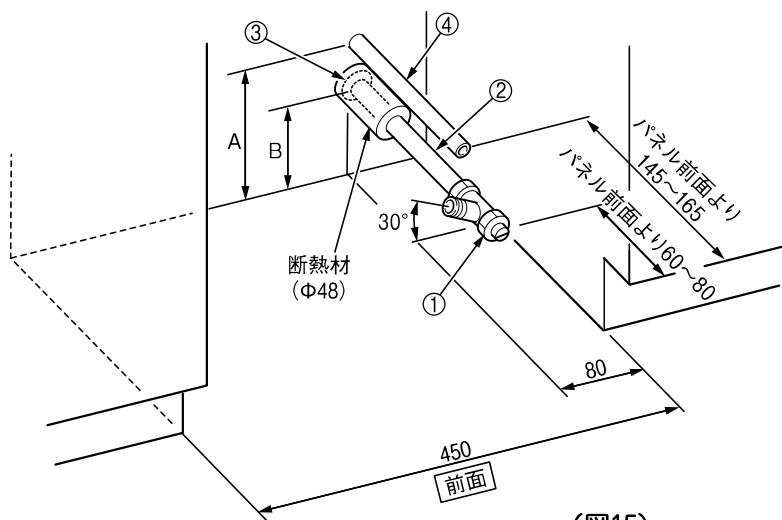
給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング鋼管

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ

壁出しの配管例



（図15）

給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2ソケット

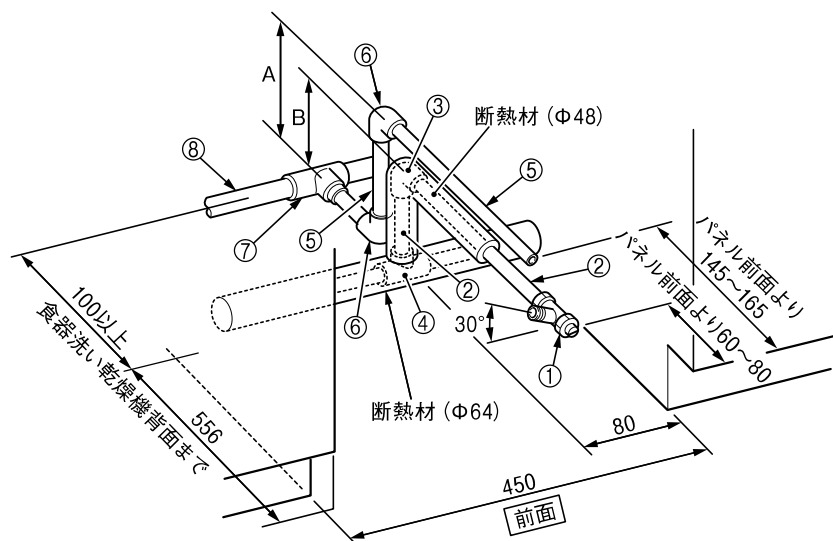
排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ④ HT20

床ころがしの配管例

(単位：mm)

※キッチン奥行L = 750mm または水切りによって壁面と食器洗い乾燥機背面との距離に余裕がある場合のみ可能です。



(図16)

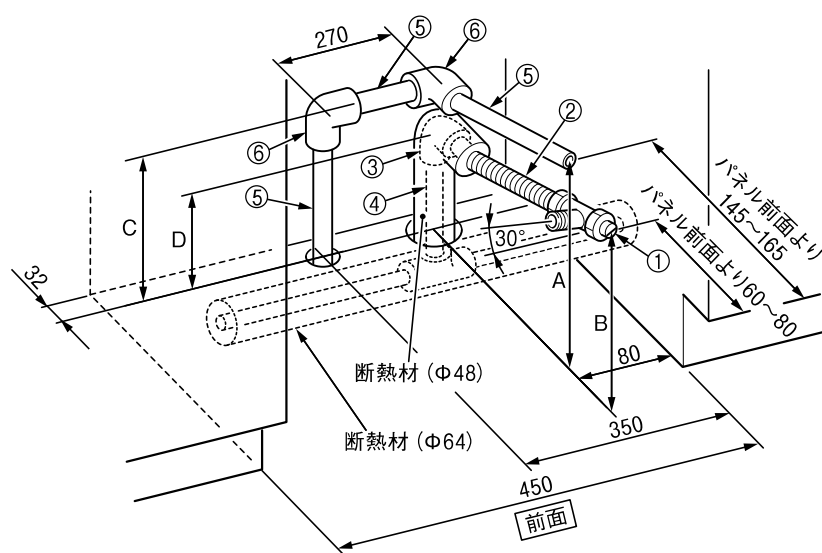
給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②硬質塩化ビニルライニング鋼管
- ③ Rc1/2エルボ
- ④チーズ

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ
- ⑦ HT40×20チーズ
- ⑧ VP40

床立上げの配管例 キッチン奥行60cm の場合



(図17)

給水（給湯の場合は耐熱配管）

- ①ドライバー式アングル型止水栓
- ②フレキシブル管（1/2）
- ③ Rc1/2エルボ
- ④硬質塩化ビニルライニング鋼管

排水（耐熱塩ビ使用のこと）

- ⑤ HT20
- ⑥ HT20エルボ

※カウンター高さ800～810mm の場合は、排水管との接触部の断熱材が5 mm 程度へこみます。

●各寸法の公差は±5mm としてください。

ただし、A 寸法と B 寸法（C 寸法と D 寸法）の差は37mm 未満にならないように工事してください。

断熱材（φ48）の装着ができなくなるおそれがあります。

●本機が使用できる水道圧力は0.03～1MPa（0.3～10.0kgf/cm²）の範囲ですが、配管の状態によっては圧力が上昇する場合がありますので、高水圧地域（0.6MPa（6kgf/cm²）以上）では減圧弁を取り付けて0.2MPa（2kgf/cm²）程度に減圧してください。水圧が高すぎると水漏れの原因になります。

⚠注意

■高水圧になる場合は減圧弁を必ず取り付ける

水漏れの原因になります。



7 設置

1 本体の高さ調節

- 本機は本体の高さを調節します。
12ページの表2を参照して高さを調整してください。
- ①庫内の付属品を外に出してください。
- ②本体の側面を下にして底面を手前にしてください。(図18)
- ③本体の高さを調整してください。
- ※本機は4カ所の調整ナットにワンタッチで高さ調整ができる調整金具が付いています。
- ※出荷時の本体の高さは755mmとなっています。
(調整ナット No. 2の位置)

本体高さ774mm の場合

- 調整金具を抜き、表2の調整ナットのNo.の位置に高さを合わせ、調整金具を差し込んでください。(図19)

本体高さ824・874mm の場合

- 調整金具を抜き、調整ナットのNo.が13の位置に高さを合わせ、調整金具を差し込んでください。(図19・21)
次に調整脚を回転させ、表2の脚寸法分を引き上げてください。(図21)

※H寸法はけこみ寸法ではなく、床面から本体側面下までの寸法です。

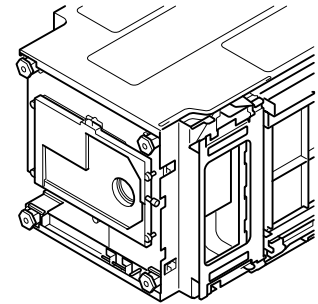
※事前に調整ナットの該当No.部に、油性マジックなどでマーキングすることをおすすめします。

※調整金具の着脱は⊖ドライバーやラジオペンチを使用すると容易に作業できます。(図20)

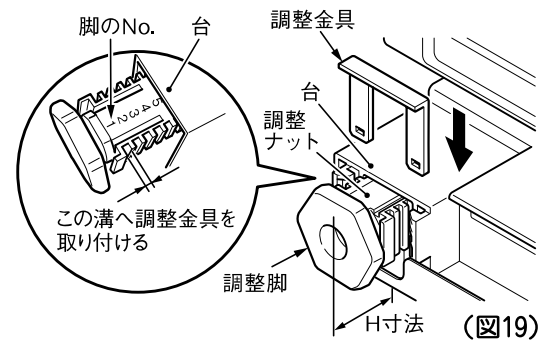
※調節脚の高さが4本とも同じになっていることを必ず確認してください。

※本体を起こす際に、調整ナットや脚が破損するおそれがあります。過度な荷重がかからないようにゆっくりと起こしてください。

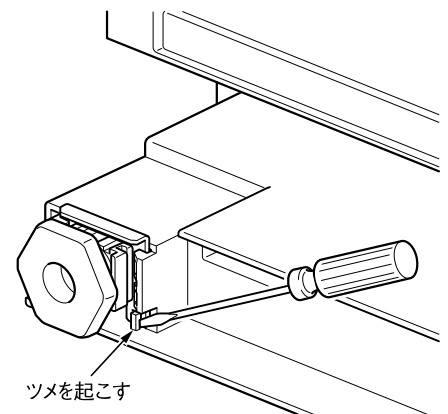
※ザ・クラッソの本体高さ874mmの場合は、t25mm スペースを使用します。
t25mm スペースと組立・設置説明書は、別売品(扉面材)に同梱しています。



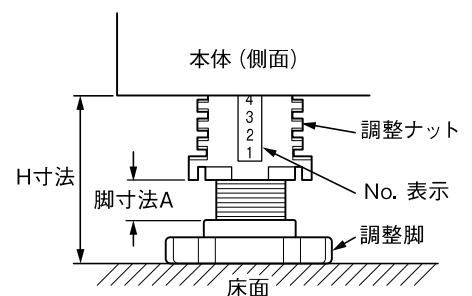
(図18)



(図19)



(図20)



(図21)

⚠注意

■調節脚の高さを調整し、本体を水平にする

ドアが左右に片寄り、ドアの干渉、開閉時の異音、水漏れの原因になることがあります。

■床の不陸などにより左右キャビネットにスペーサーなどで調整している場合は、その分本体を高くしてください

左右扉との上下位置が合わなくなります。



1 本体の高さ調節

■ザ・クラッソの場合

(単位：mm)

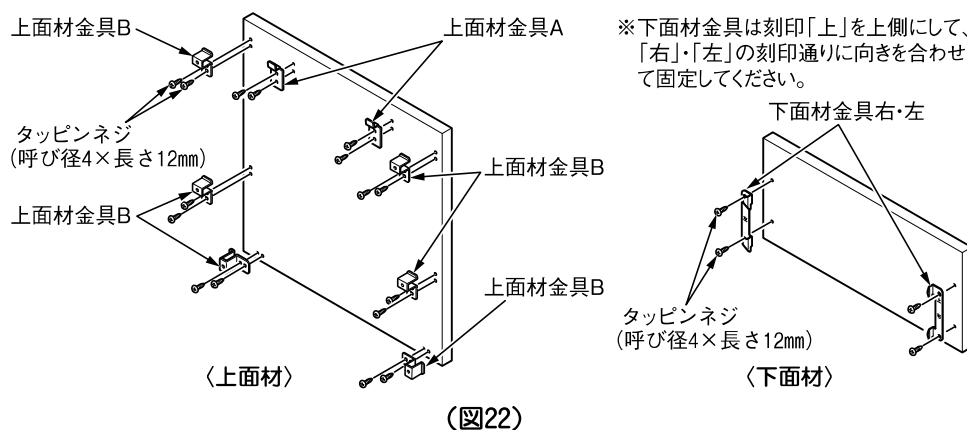
カウンター高さ	800	850	900
本体高さ	774	824	※849
調整ナット No.	6	13	13
脚寸法 A	—	15	40
H寸法	32.5	82.5	107.5

※本体高さ + t25mm スペーサー

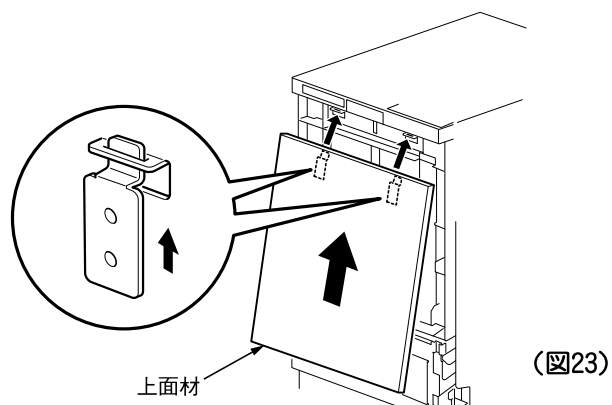
(表 2)

2 上面材の取り付け

- ①タッピンネジ（呼び径 4 × 長さ12mm）（上面材：16本、下面材：4 本）で、面材に金具を取り付けます。（図22）



- ②ドア裏板に上面材を下から差し込みます。（図23）



- ③上面材を保持しながらドアを開いて、ドア裏面に六角タッピンネジ（呼び径 4 × 長さ 8 mm）（6 本）で取り付けます。（図24）

※ドアを開くときに上面材を保持していないと、上面材が落下しますので注意してください。

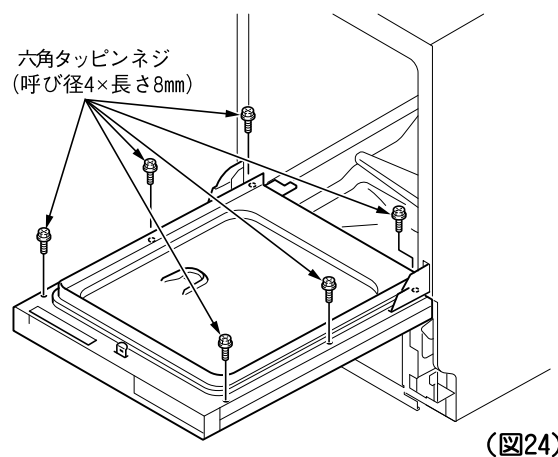
⚠注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする



取り付けねじの頭や面材が使用できなくなり、固定できなくなるおそれがあります。

●面材を取りはずすときは、逆の手順にてはってください。

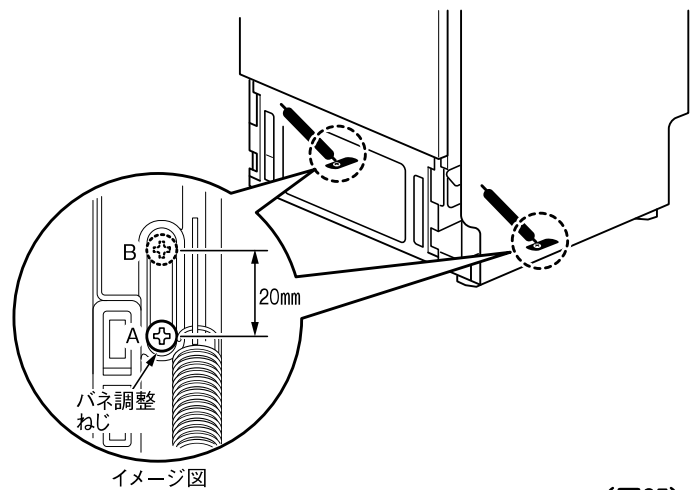


④ドアのはねかえり量を調整してください。

バネ調整ねじの初期位置はAの位置です。(図25)

上面材の厚さ15～16mm または枢扉の場合

●バネ調整は不要です。

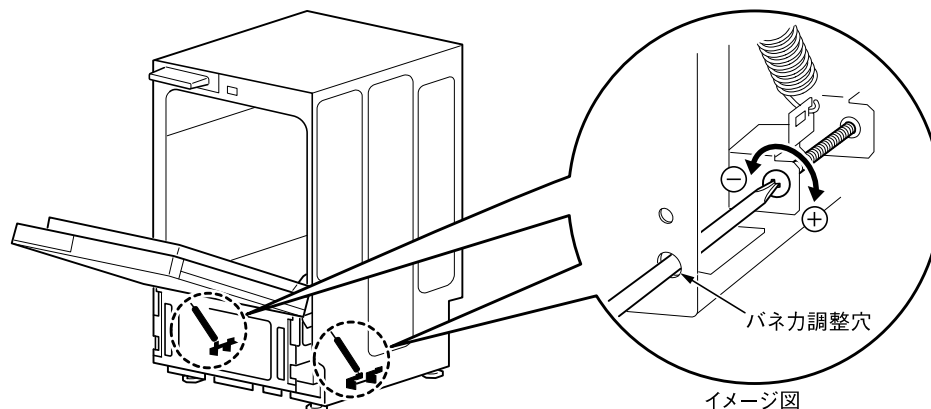


(図25)

ドアが全開位置から自動で閉まる場合

●機器の下部左右2カ所にある、バネ力調整穴の奥のねじをロングドライバーで時計回りに回し、バネ調整ねじの位置を奥まで移動させてください。(図25・26)

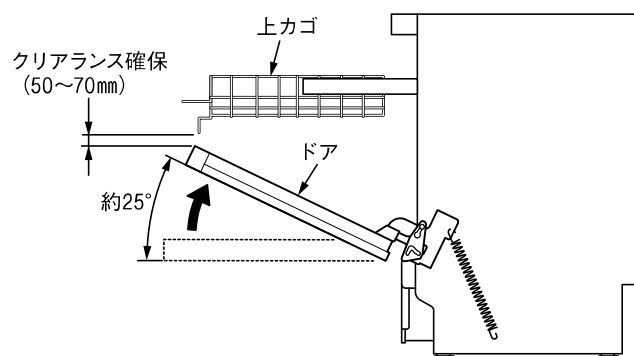
※バネが強すぎる場合は反時計回りに回し、少しゆるめてください。(図26)



(図26)

●ドアの全開位置から手を離したときの戻り量が約25°で止まることを確認してください。

目安は、上カゴを引き出したときに上カゴとドアがぶつからない程度です。(図27)



(図27)

⚠注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



3 転倒防止金具・移動防止金具用型紙の取り付け

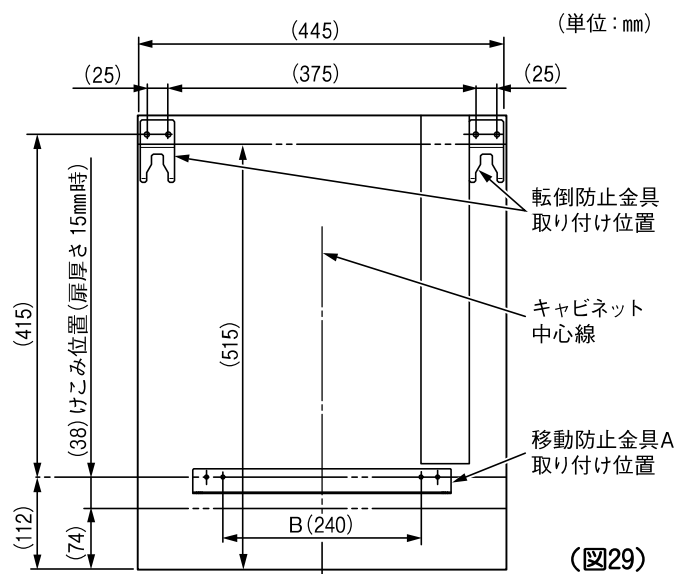
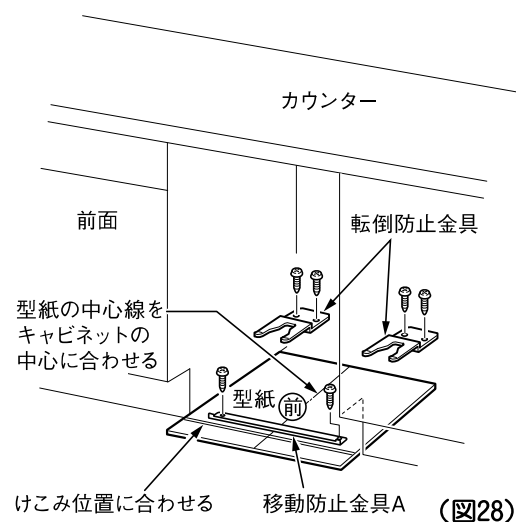
- ①型紙に記載されている説明に従って、床面に型紙を敷いてください。(図28)
- ②型紙の転倒防止金具の穴位置(2カ所×2)に目印をキリやポンチでつけてください。
- ③型紙の移動防止金具の穴位置B(2カ所)に目印をキリやポンチでつけてください。
- ④型紙をはずしてください。
- ⑤転倒防止金具を両面テープなどで仮固定し、本体をビルトインし、上面材と隣接キャビネットの扉の前後位置が合うことを確認してください。
合わない場合は、転倒防止金具および移動防止金具の前後位置を調整してください。

※転倒防止金具および移動防止金具Aの取り付け位置

⚠注意	
■移動防止金具と転倒防止金具は、必ず所定の位置に取り付ける 本体が移動して水漏れが起きるおそれがあります。	!
■扉厚さを確認する 扉の厚みによって取り付け位置が変わります。	!

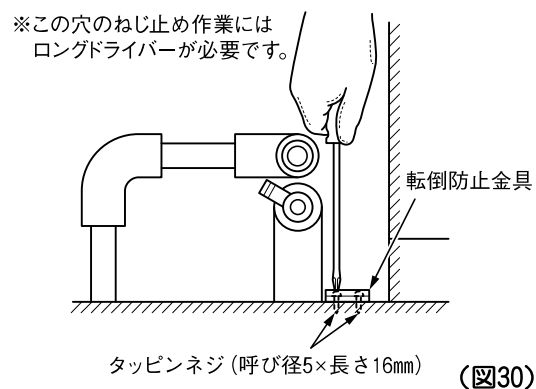
⑥本体を引き出してください。

※床面を傷つけないように注意してください。



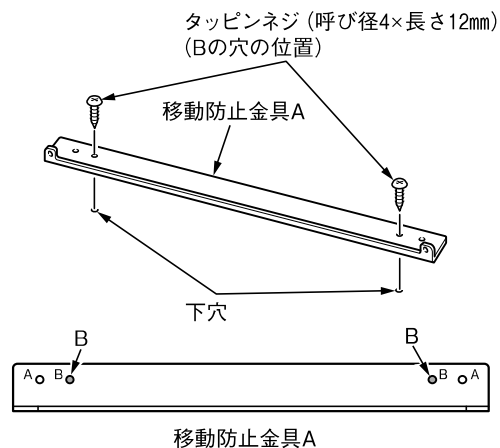
4 転倒防止金具の取り付け

- 転倒防止金具(同梱)を型紙に記載されている説明に従って、4本のタッピンネジ(呼び径5×長さ16mm)(同梱)で取り付けてください。(図30)



5 移動防止金具の取り付け

- 移動防止金具A（同梱）を型紙に記載されている説明に従って、Bの穴の位置に2本のタッピンネジ（呼び径4×長さ12mm）（同梱）で取り付けてください。（図31）

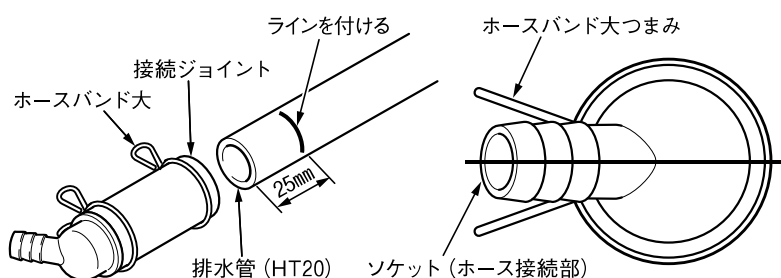


（図31）

6 排水管との接続

■給排水接続工事については、設備業者様にて実施をお願い致します

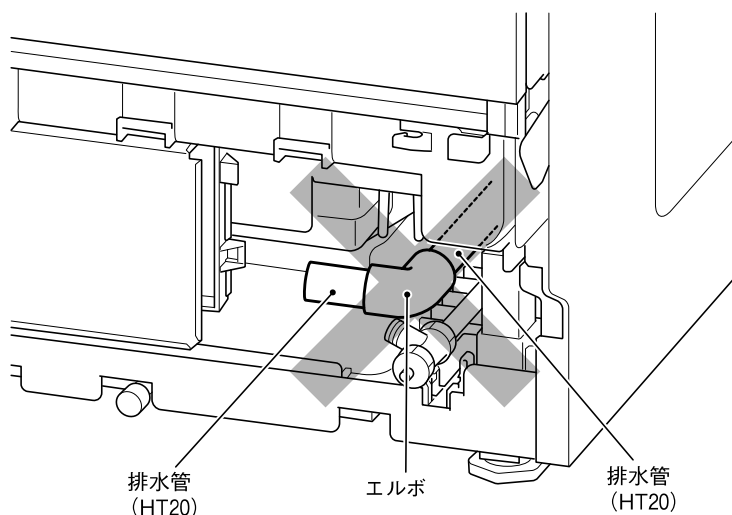
- 排水管（HT20）の先端から25mmのところを目印のラインを付けます。
その後、排水管（HT20）に接続ジョイントをラインまで挿し込み（接続ジョイントを挿し込みすぎないでください。）、ホースバンド大で固定してください。（図32）



（図32）

- ※ホースバンド大のつまみの向きを2個とも左側にして固定してください。

- ※機器本体をビルトイン後に排水管（HT20）の先端にエルボなどを取り付けますと、機器が修理時などに引き出せなくなりますので、絶対に取り付けしないでください。



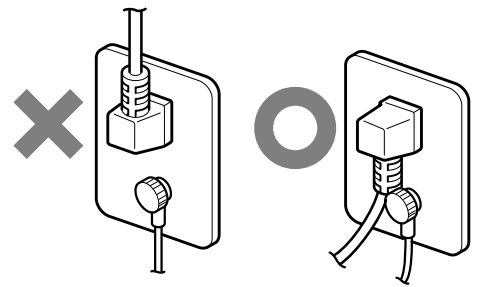
（図33）

- ①電圧が100Vであることを確認してから埋め込みコンセントに電源プラグを差し込んでください。
- ②アース線をアースターミナルに接続してください。

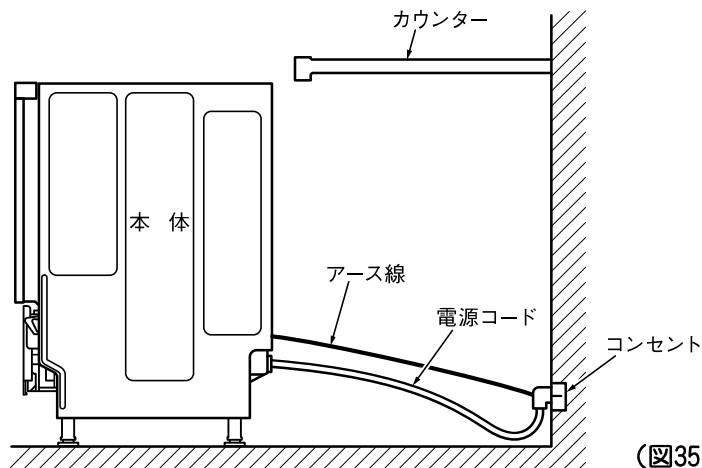
⚠注意

■電源プラグはコードが下方向に出るようコンセントに差し込む

コードが上方向に出ますと、機器をビルトインしたとき、コードが傷つくことがあります。



(図34)



(図35)

⚠警告

- 電源プラグは刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。



⚠注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電やショートして発火することがあります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

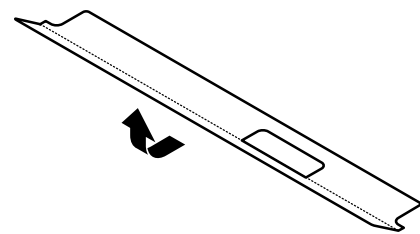


- 電源コードを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



8 上部シートの取り付け

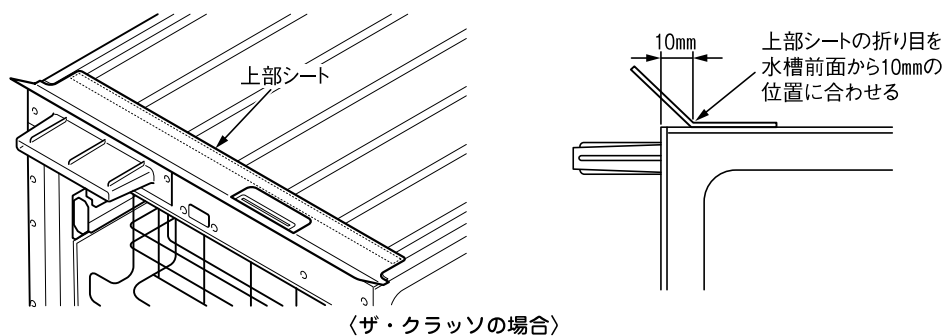
①上部シートを折り曲げます。(図36)



(図36)

②ドアを開け、上部シートのはく離紙をはがします。

③機器上面のイラストの位置に、上部シートを貼り付けます。(図37)



(図37)

9 下部扉昇降機構の取りはずし

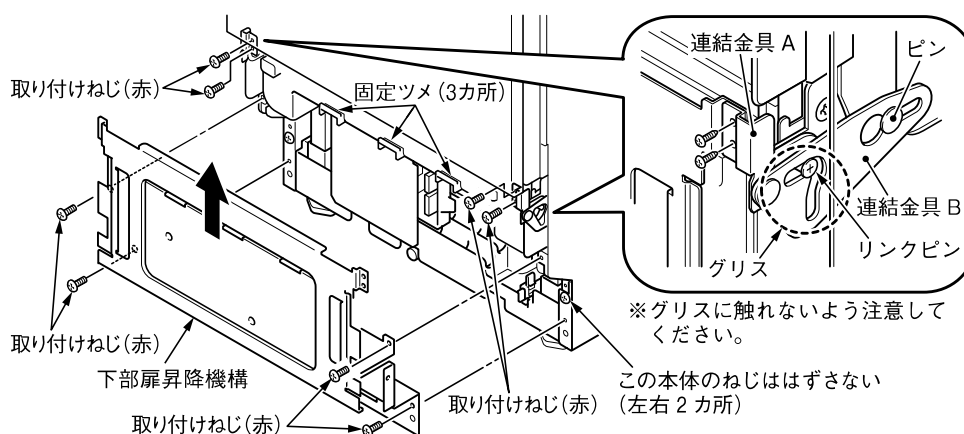
①設置に必要な部品を水槽内から取り出してください。

②下部扉昇降機構の取り付けねじ（赤色 8 本）をはずし、下部扉昇降機構を上側にスライドさせ固定ツメ 3 カ所をはずしてください。(図38)

⚠注意

■下部扉昇降機構をはずしたときは、本体を倒したり、ドアを45°以上開けない

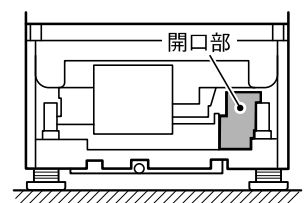
連結金具 A やリンクピンを破損するおそれがあります。また、連結金具 B がピンよりはずれることがあります。(連結金具 A ・ B については、21 ページの図51参照)



(図38)

本体のビルトイン

- ①隣接する機器などに注意し、給湯（給水）管、排水ホースの先を開口部から挿入するようにして、本体の下方をゆっくりと押し込んでください。



(図39)

お願い

- 床面の凹凸で調整脚のすべりが悪くスムーズに挿入できないときは、無理やり押さないでください。
- ※脚が変形するおそれがあります。床面を養生するなど、配慮してください。

⚠注意

- 給・排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
給・排水不良の原因になります。



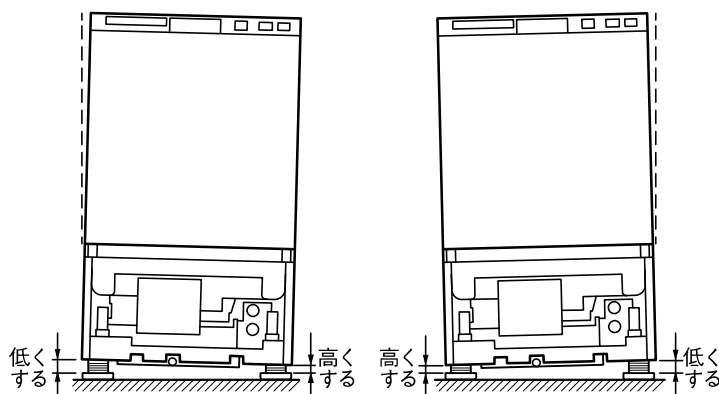
- ②本体をビルトインした状態で、ドアの左右の片寄りを確認してください。
- ドアの片寄りがある場合、ドアの干渉、開閉時の異音、水漏れの原因になることがあるため、調節脚を調節してください。

ドアの片寄りの調整

- 片寄りの方向によって前側の脚高さを調節します。本体の前面を少し持ち上げ、脚の下部を回して調節してください。(図40)

右側へ片寄っている場合

左側へ片寄っている場合

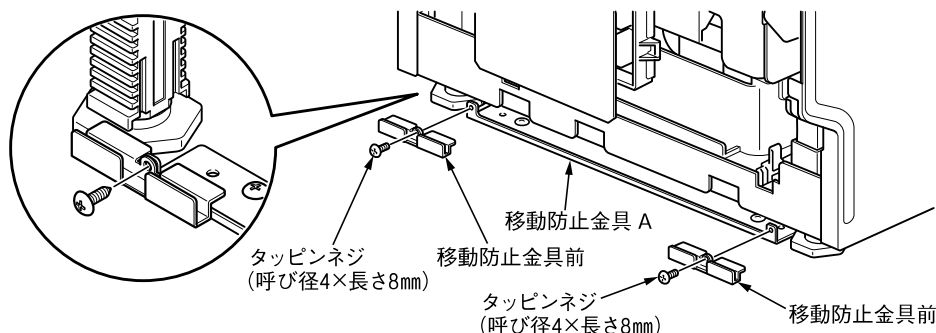


(図40)

※床面を傷つけないよう注意してください。

- 前後の傾き、上下位置の微調整も前側の脚高さにて調節してください。

- 移動防止金具前をタッピンネジ（呼び径4×長さ8mm）で移動防止金具Aに固定してください。
- ※移動防止金具前は左右共通です。



(図41)

※図41は見やすくするため、水槽など一部の部品を省略しています。

12 給水（給湯）管との接続

■給排水接続工事については、設備業者様にて実施をお願い致します

①給水ホース（本体）をドライバー式アングル型止水栓に確実に接続してください。（図42）

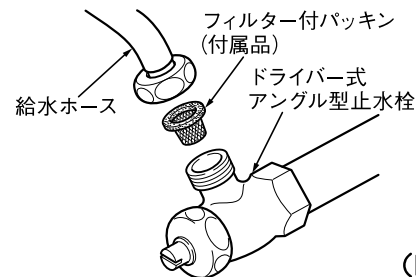
（フィルター付パッキンの向きに注意）

※必要以上に強く締め付けますと、パッキンが破れますので注意してください。

お願い

●ナットは手で軽く締め込んだ後、約半回転ぐらい締め付けてください。

※適正な締め付けトルクは $5 \sim 10 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($50 \sim 100 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$) です。



（図42）

⚠注意

■フィルター付パッキンは必ず所定の位置に取り付ける

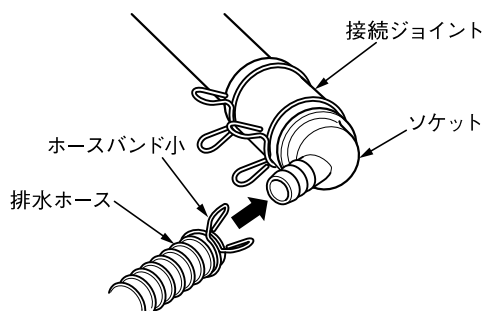


13 排水ホースとの接続

●接続ジョイントと排水ホースを接続します。

（図43）

（ホースバンド小は排水ホースに取り付けてあります。）
この時、排水ホースは給湯（給水）管や、給水ホースの上を通るように配管してください。（図44）



（図43）

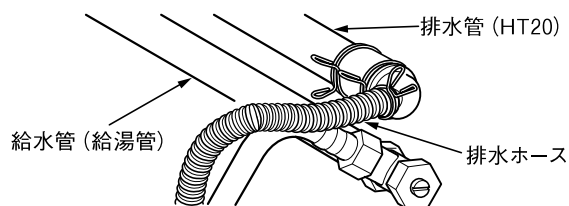
配管の収まり図

●給水ホースと排水ホースが台本体の前面より前に出て下面材部品に接触しないように配管してください。

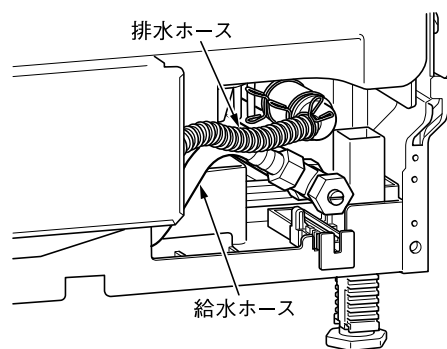
（図45）

●排水ホースと給水ホースが折れ曲がっていないか確認してください。

■排水ホースを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、挟み込んだり、加工したりしない
水漏れの原因になります。



（図44）



（図45）

8 試 運 転

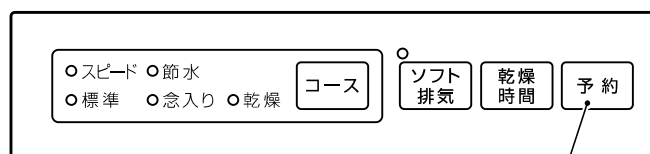
※試運転の前に必ず他の水栓より数リットルの水を流して、配管内のさびなどを流してください。

■試運転を行ってください。なお、次の手順で試運転を行うと短時間で行うことができます

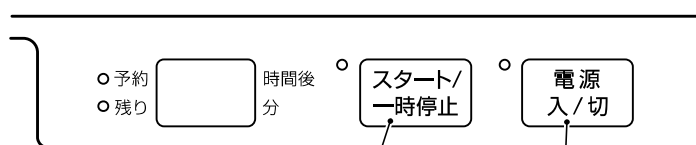
- ①止水栓を開きます。
- ②ドアを開いて食器かご、小物入れを水槽内から取り出します。
※試運転の時に配管内のさびが食器かごに付着するおそれがあるためです。
 回転ノズルや残菜フィルターの輸送用固定テープ、梱包部材を取り除きます。
- ③「電源」ボタンを押して電源を「入」にしてから「切」にします。(リセットします。)
- ④「予約」ボタンを押しながら、「電源」ボタンを押します。(このときブザーが「ピピッ」と鳴ります。また、7セグに「SU」が点滅して表示されます。)
- ⑤ドアを閉じます。
- ⑥「スタート/一時停止」ボタンを押してください。(「試運転」コースが開始し、「SU」表示が点灯に変わります。約10分間で終了します。)

〈上面操作部〉

〈前面操作部〉



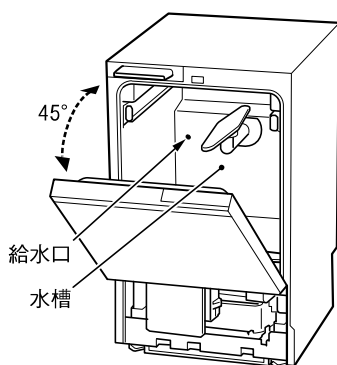
「予約」ボタン



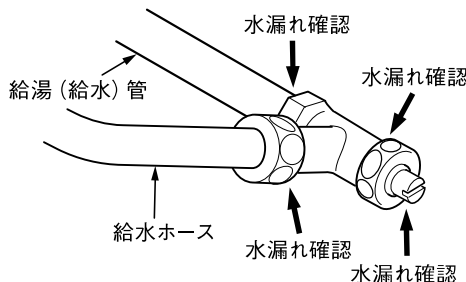
「スタート/一時停止」ボタン

「電源」ボタン

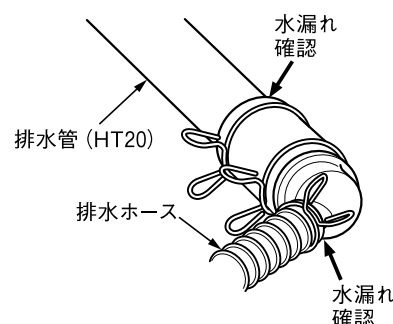
- ⑦次の確認を行ってください。
- 一定量の水が入ればシャワーを噴射しながら水槽内のノズルが回転します。ノズルが回転しているか確認してください。(噴射音：バシャバシャ音が聞こえるか確認してください。)
- ※試運転は、運転が終了するまで確実に行ってください。途中で停止させないでください。**
- ※試運転が15分以上かかる場合は、フィルター付パッキンに異物が付着している可能性があります。フィルター付パッキンをはずして掃除してください。**
- ※運転中に26ページの異常報知が表示された場合は、表示内容に対応した処置を行ってください。**



(図46)



(図47)

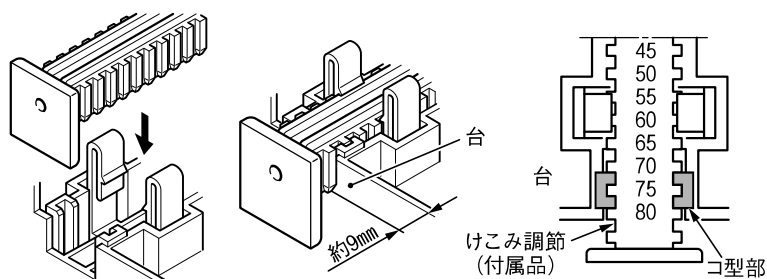


(図48)

- 運転が終了するとブザーが鳴り、電源が「切」になりますので、運転終了を確認後、ドアを45°まで開けてください。(水槽内の水が排水されていることを確認してください。また運転中給排水接続部からの水漏れがないことを充分確認してください。)
- 電源が「切」の状態、ドアを45°まで開き、水槽内の給水口から水が出ていないことを確認してください。
- ⑧食器かご、小物入れを元どおりセットしてください。
- ⑨試運転終了後、止水栓を開いたままにしておいてください。また、長期間使用しない場合は、万が一の水漏れを防止するため、家屋の元水栓を閉めてください。

- ①けこみ調節に刻印されている数字の75を台の口型に合わせ、けこみ調節を台に差し込みます。

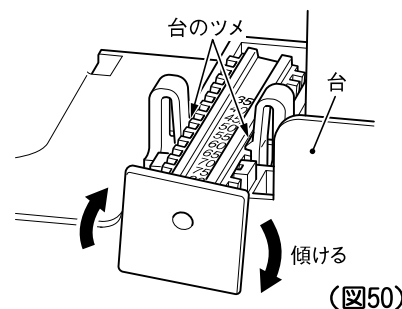
このとき、台から約9 mm 出た状態が「75」に合った位置になります。(下部扉昇降機構を取り付けていない場合) (図49)



(図49)

- けこみ調節を取りはずす際は、けこみ調節を片側に少し傾け、台のツメを片側ずつはずしながら取りはずしてください。(図50)

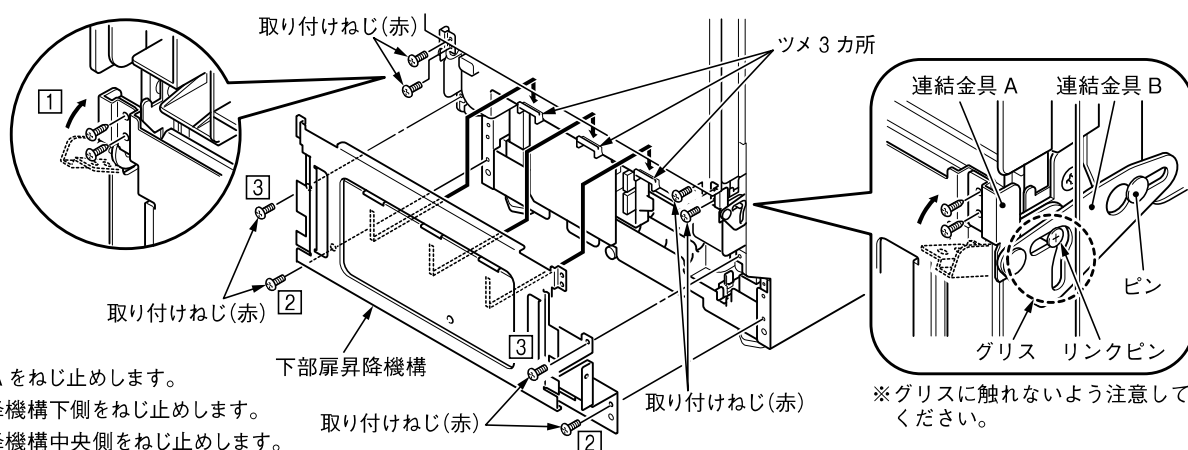
※真上に引っ張り、左右のツメを同時にはずそうとしますと、ツメが破損するおそれがあります。



(図50)

- ②図38ではずした下部扉昇降機構の穴に水槽下のツメ 3カ所を挿入し、下部扉昇降機構を上側にスライドして、取り付けねじ (赤色 8 本) で固定してください。(図51)

※連結金具Bにはグリスを塗付しています。グリスに触れないよう注意してください。



※グリスに触れないよう注意してください。

(図51)

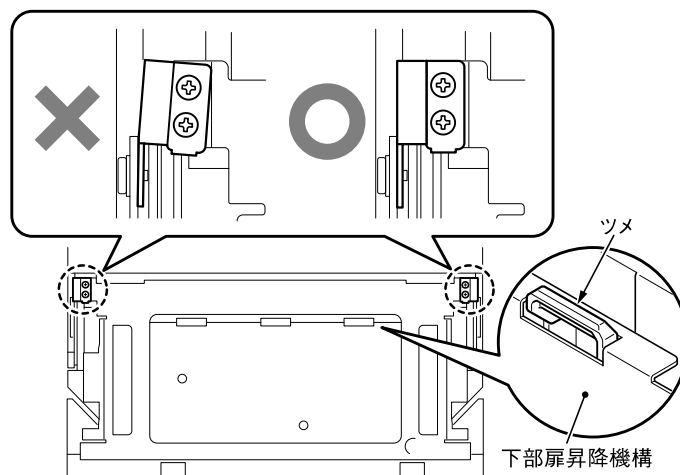
⚠注意

■連結金具 A はまっすぐに取り付ける

連結金具 A の下方が開かないようにねじ止めしてください。

■連結金具 B がピンからはずれていないことを確認する

■水槽下ツメが下部扉昇降機構の穴に挿入されていることを確認する



(図52)

⚠注意

■けこみパネルを設置する

TOTO システムキッチンでは、面材付属のけこみパネルを設置します。

けこみパネルの設置方法は、カウンター高さによって変わります。



カウンター高さ850・900mm の場合

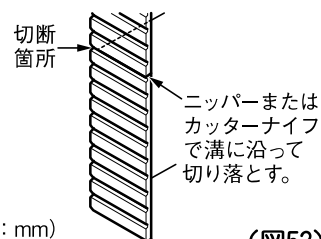
①けこみカバーをカウンター高さに合わせて切断します。

- 最初に切断箇所の左右および中央のリブを、ニッパーまたはカッターナイフで右図のように切ります。その後、裏面のV溝をカッターナイフで2～3回切り込み切断します。(図53・54)

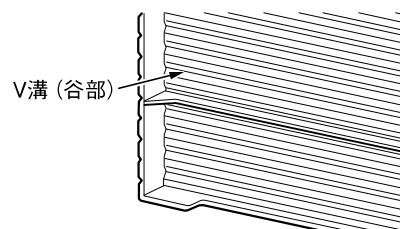
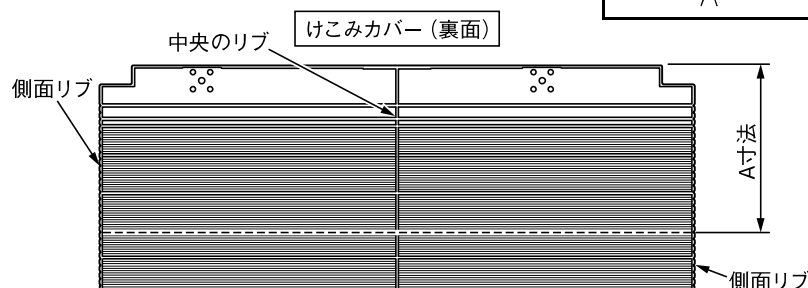
- 切断長さは右記の表を参照してください。

(単位: mm)

	ザ・クラッソ	
カウンター高さ	900	850
A	150	115



(図53)



(図54)

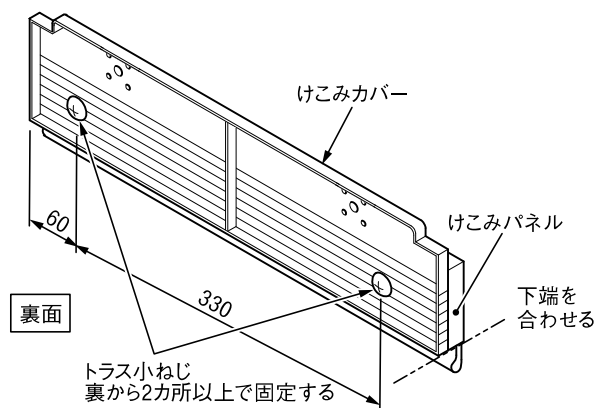
②けこみカバーにけこみパネルを固定します。(図55)

〈ザ・クラッソのカウンター高さ850mm の場合〉

- けこみパネル下端を、切断したけこみカバーの下端に合わせ、けこみカバーの裏面からトラス小ねじでけこみパネルを2カ所以上固定します。

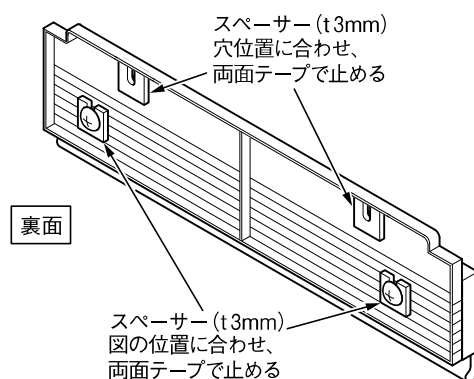
〈ザ・クラッソのカウンター高さ900mm 場合〉

- けこみパネル下端を、切断したけこみカバーの下端から16mm 下げた位置で、けこみカバーの裏面からトラス小ねじでけこみパネルを2カ所以上固定します。



(図55)

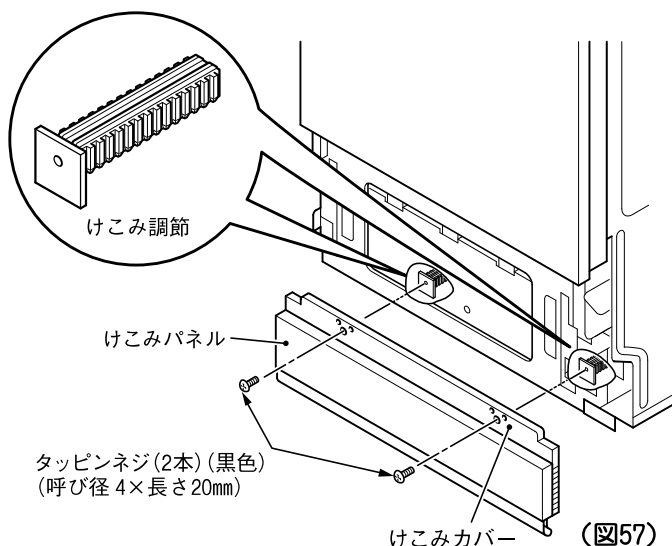
※面材の厚さが15～16mm の場合は、面材付属のスペーサー(t3mm)をけこみカバーの裏面に両面テープで取り付けてください。(図56)



(図56)

1 けこみカバーの取り付け

- ③けこみカバーを2本のタッピンネジ（呼び径4×長さ20mm）でけこみ調節に取り付けます。（図57）



⚠注意

■電動ドライバーは使用しないで手締めする

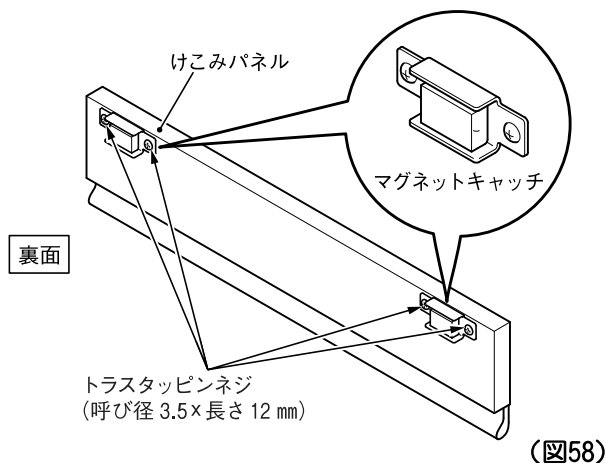
ねじ山がつぶれて締まらなくなるおそれがあります。



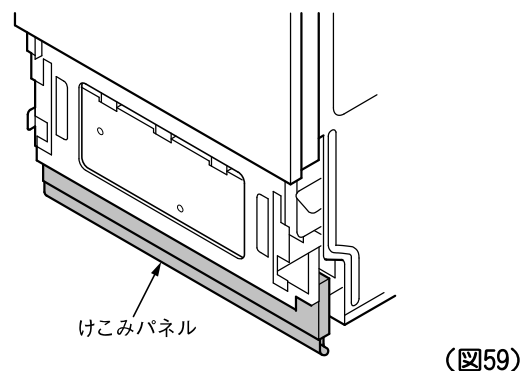
カウンター高さ800mm の場合

- ①面材付属のマグネットキャッチ（2個）を、4本のトラスタッピンネジ（呼び径3.5×長さ12mm）で、けこみパネル裏面に取り付けます。（図58）

※面材の厚さが15～16mmの場合は、面材付属のスペーサー（t3mm）をマグネットキャッチとけこみパネルの間に挟んでください。



- ②けこみパネルを本体下部に取り付けます。（図59）



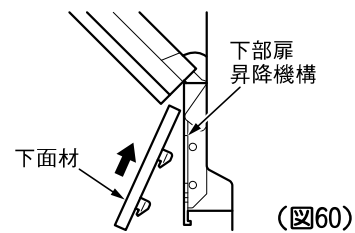
2 下面材の取り付け

①ドアを約45°開いてください。

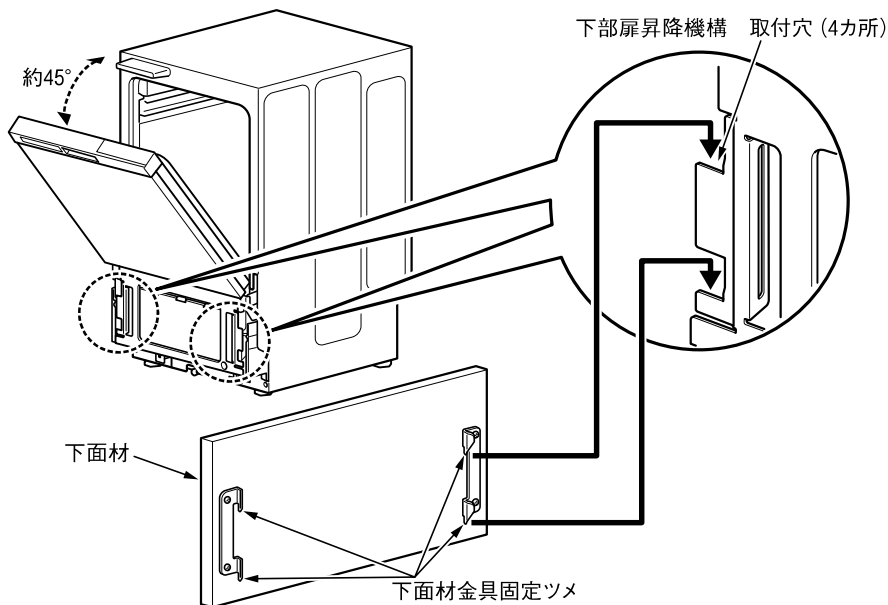
②ドアを約45°開いた状態で、ドア下部にある下部扉昇降機構の取付穴（4カ所）に下面材の取付金具のツメを挿入します。（図61）

※開いたドア下部のすき間に、下面材をすべり込ませるように上方にスライドさせて取り付けます。（図60）

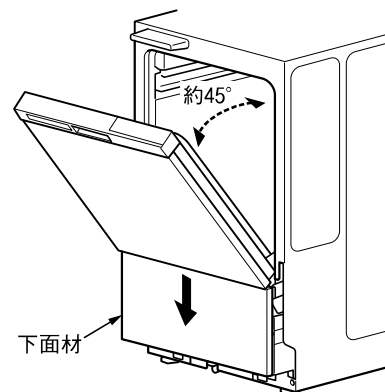
そのまま下方にスライドさせ、取り付けてください。（図62）



（図60）



（図61）



（図62）

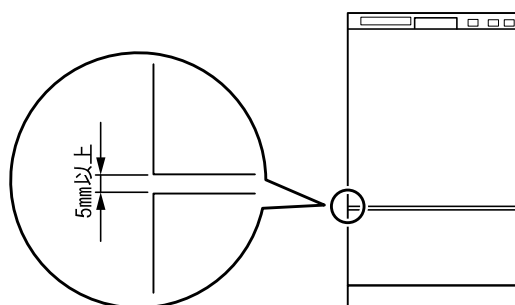
③ドアが閉じた状態で上面材と下面材のすき間が5 mm 確保されているか確認します。（図63）

④ドアが閉じた状態で下面材を上面材に当たるまで持ち上げてから手前に引き、下面材が手前にはずれないことを確認してください。

⑤下面材が傾いていないか、隣のキャビネットと干渉していないか確認してください。

すき間が異なっていたり傾きがある場合は、下面材の金具のツメのかかりや金具取付板の位置を調整してください。

●調整後は、上面材と下面材のすき間が5 mm 以上になっているか確認してください。



（図63）

11 設置後の点検

チェックリスト

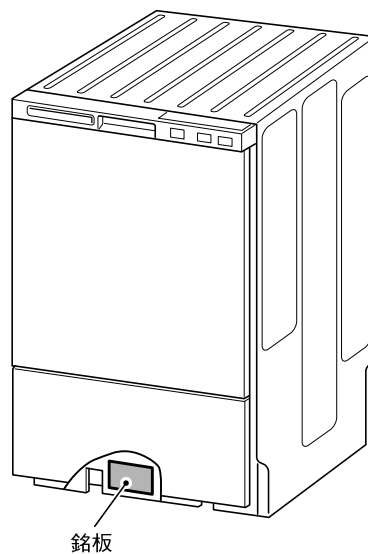
点 検	点 検 内 容	参照項目	チェック
機器の おおよ び辺	電 源 (電圧)	銘板表示と使用電源が適合していますか。	5-1
	ド ア の 開 閉	他の機器への障害はありませんか。	4-1
	転 倒 防 止 金 具 移 動 防 止 金 具	転倒防止金具および移動防止金具は取り付けましたか。	7-3 7-4 7-5 7-11
	同 梱 部 品	部品の不足はありませんか。また正しく取り付けられていますか。 梱包材、固定用テープは取り除きましたか。	3 8
	給湯器との接続の場合	指定する給湯器に接続されていますか。	6-1
給排水 (給水・ 排水) 接 続	フィルター付パッキン	フレキシブルホースと止水栓との接続部にフィルター付パッキンを挿入しましたか。	7-12
	排 水 ホ ー ス	排水管との接続部は確実に接続したことを確認しましたか。また押しつぶされたり、無理に折れ曲がったりしていませんか。	7-13
電 気 接 続	電源コンセントは専用回路で、電源プラグは125V 15A のアースターミナル付埋め込みコンセントに接続しましたか。	5-1	
	アース線を接続しましたか。	5-2	

※点検・修理の際には製造番号の確認が必要になることがあります。

製造番号は、銘板またはあんしん点検銘板に表示してあります。

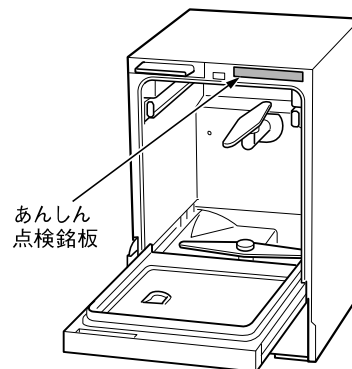
〈銘 板〉

食器洗い乾燥機			
定格電圧	100V	型式	
周波数	50/60Hz		
電動機定格消費電力	130/170W		
ヒータ定格消費電力	800W		
製造番号		PSE	
製造者 リンナイ株式会社			
型式 RKWR-F402C	JQA		
ⓂJ W W A	消防法 基準適合 組込形		
認証登録番号 B-6 RN(O)	可燃物からの離隔距離 (cm)		
	上方	側方	前方 後方



〈あんしん点検銘板〉

品名コード:	
型式:	
製造年月: 年 月	
製造番号:	



(図64)

●試運転で以下のように表示部が点滅してブザーが鳴るときは下記内容を確認してください。

表示（前面操作部）	原因	処置
17	機内の水漏れ不良 本体内から水漏れしている。	●水漏れのおそれがあります。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。
18	給水中の水漏れ不良 給水中に水漏れしている。	●水道栓（元栓またはキャビネット内の止水栓）を閉めてください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
56	給水不良 断水や水道栓の開け忘れなどで給水ができないため。 フィルター付パッキンに給湯（給水）管内の異物がつまり、給水ができないため。	●電源を「切」にする。 ●断水の場合は、断水の回復を待って運転する。 ●水道栓（元栓およびキャビネット内の止水栓）は必ず開栓する。 ●フィルター付パッキンに付着している異物を除去する。
	止水不良 給水弁に異物がつまり止水できない。	●ドアを開け、給水口から水が出ているか確認する。（20ページの図46参照）水が出ている場合は、水道栓を閉めてください。 ●至急お買い上げの販売店にご連絡ください。 ●配電盤のブレーカは OFF にしないでください。
60	排水不良 排水ホースの折れやつまりによって、洗浄槽内の水が排水できないため。	●電源を「切」にする。 ●排水ホースに折れぐせがついていないか確認する。（折れぐせがついている場合は直す。）
すべてのランプが点滅	ドア不良 ドアが完全に閉まっていない位置で「スタート／一時停止」ボタンを押した。	●ドアを完全に閉める。

13 お客様への説明

■設置事業者様へ

- 取扱説明書によって、使用方法を説明してください。特に「安全上のご注意」「使用方法」をよく説明してください。
- 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しして、取扱説明書に従って、「保証・サービス」について説明してください。

■お客様への取り扱い説明

- ①取扱説明書にそって製品の取り扱いを説明してください。
- ②水槽内に食器かご、小物入れが入っていることを確認してください。
- ③保証書に必要事項を記入のうえ、保管のお願いをしてください。

14 仕 様

型 式		KTMW045FRSDXXXC	
電 源 電 圧		AC100V	
周 波 数		50Hz/60Hz	
定 格 電 流		9.3/9.7A [50/60Hz]	
消費電力	洗 浄 モ ー タ	130/170W [50/60Hz]	
	ヒ ー タ	800W	
	最 大 消 費 電 力	930/970W [50/60Hz]	
外 形 寸 法		(幅) 448mm × (奥行) 564mm × (高さ) 755～855mm	
製 品 質 量		約30.0kg	
水 圧		0.03～ 1 MPa (0.3～10kgf/cm ²)	
洗 浄 方 式		上下 2 段ノズル噴射による加熱洗浄方式	
すすぎ方式		ためすすぎ方式	
乾 燥 方 式		ヒータ間欠通電とファンによる強制排気乾燥	
庫 内 容 積		66L	
標 準 収 納 容 量		大皿 6点・中ばち 6点・小皿 8点・茶わん 6点・吸物わん 6点・ 湯のみまたはコップ 6点・はし 6組・スプーン 6点・フォーク 6点	

※電源プラグを差し込んだ状態では電子回路を作動させるため、約1W 電力を消費しております。

